

働き方改革アクションプラン

会社名	帝人株式会社	従業員数	①5,000人以上
------------	--------	-------------	-----------

① 長時間労働の是正（K P I）

【K P I 設定の前提】

2016 年度実績で、全社員平均の年間総実労働時間は、既に 1,800 時間台という水準にある。

【今次 K P I】

更なる改善目標として 2020 年度までに、全社員が年間総実労働時間 2,000 時間以下を目指す。

① 長時間労働の是正（行動計画）

- ・経営トップの定期的なメッセージ発信（ホームページ・冊子等）
- ・各職場での業務見直し活動と、好事例の社内共有（ホームページ・冊子等）、表彰
- ・RPA や AI 等を活用した効率化
- ・ノー残業デーの推進
- ・時間外労働の事前申請徹底

働き方改革アクションプラン

会社名	帝人株式会社	従業員数	①5,000人以上
------------	--------	-------------	-----------

② 年休の取得促進（K P I）

【K P I 設定の前提】

2016 年度実績で、全社員の平均年次休取得日数は、14 日になっている。

【今次 K P I】

更なる改善目標として、2020 年度までに、年間年次休取得日数 10 日未満者ゼロを目指す。

② 年休の取得促進（行動計画）

- ・経営トップの定期的なメッセージ発信（ホームページ・冊子等）
- ・リフレッシュ休暇取得促進
- ・取得奨励日や一斉取得日の設定
- ・取得率の低い社員への個別メール発信

働き方改革アクションプラン

会社名	帝人株式会社	従業員数	①5,000人以上
------------	--------	-------------	-----------

③ 柔軟な働き方の促進（K P I）

【K P I 設定の前提】

2016 年度実績で、既に育児休職後復帰率は 100%達成、年間男性育児休業取得率は 30%になっている。

【今次 K P I】

更なる改善目標として、2020 年度までに、年間男性育児休業取得率 50%を目指す。

③ 柔軟な働き方の促進（行動計画）

- ・経営トップの定期的なメッセージ発信（ホームページ・冊子等）
- ・子が生まれた社員および上司への育児休業取得推奨メールの発信
- ・育児休業を取得した男性社員の好事例の社内共有（ホームページ・冊子等）